

# 戸田市 施策評価シート

作成日	令和 2年 6月29日	作成者名	石原 亮	評価者名	森谷 精太郎
-----	-------------	------	------	------	--------

## 1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	03 安心して安全に暮らせるまち	中心となる課	危機管理防災課・危機管理防災課
分野	02 防災	関係課	市民生活部・防犯くらし交通課
施策	31 地域防災力の強化		
施策の目的	災害から市民を守るための地域防災体制の整備に努めるとともに、市民一人ひとりが災害に対しての考え方や知識を持ち、防災意識を高め、有事の際にはお互いに助け合うことのできるような地域づくりを目指します。さらに、市民が安全で安心して暮らせる災害に強いまちの実現を目指します。		

## 2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	防災意識開発等事業
取り組み②	防災施設等整備事業
取り組み③	地域強靱化計画事業
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

## 3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	R1	R2
避難行動要支援者避難支援制度登録者数	避難行動要支援者避難支援制度の登録者数(累計)	人	900	179	189	177	171	170	
防災士資格取得者数(自主防災会推薦者)	防災士資格取得者数(累計)	人	85	29	38	42	51	55	
水害避難訓練実施自主防災会	水害避難訓練実施自主防災会数(累計)	防災会	23	3	6	6	13	23	
その他施策の取組事項に係る成果									

## 4. 施策の展開 <ACTION>

課題	近年の突発的・局地的なゲリラ豪雨の頻発や台風の大型化、近い将来の発生が危惧される首都直下地震など、大規模災害発生に備えた災害対応力の強化が求められている。 また、災害時における避難情報の早期伝達や地域との情報の共有、避難行動要支援者に対する安否確認や避難支援体制の構築が課題である。 また、有事の際には、行政による公助のみならず、自助・共助が不可欠であることから、市民・自主防災会・事業者などと連携した災害に強い地域づくりが重要となる。	対応策	自主防災会への防災器材購入費補助や防災士資格取得支援、マンション及び事業者に対する防災資器材の購入費用の補助事業を継続することにより、地域の防災体制の強化・充実を図る。 また、大規模災害時は行政の力だけでは立ち行かないことから、今後、各避難所ごとに、自主防災会長や防災士、地域団体、施設管理者等から構成される避難所運営委員会の設置を働きかけ、共助の意識の醸成を進めていく。さらに、過去の災害の教訓から想定される被害に対し、その被害回避に向けた地域強靱化計画を推進し、災害に強い地域づくりを行う。
----	--	-----	--

## ○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	防災士の資格取得支援については、各自主防災会へ取得を促し、昨年度は有資格者が6名増加し、55名となった。大規模水害に対する危機意識も高まってきており、水害避難訓練も地域に広がりを見せている。今後は、地域における避難行動要支援者の把握や登録促進、避難支援体制が充実していくように、周知・啓発を進めていく。
B		
今後の方向性(人員/予算) (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	行政や市民、自主防災組織など災害予防対策や災害対応の役割を明確にするとともに、被害を軽減させ迅速な復旧等を可能とする計画の改訂など、平時から総合的に防災・減災対策を押し進める必要がある。今後も人員と予算の効率的な運用を図り、関係団体との協定締結の推進をはじめ、災害に強い強靱な地域づくりと市民への防災意識醸成の啓発を行っていく。
↑		

## (評価者コメント)

ゲリラ豪雨や大型台風、首都直下地震など、大規模災害発生に備えた災害対応力の強化が求められている中、自主防災組織や事業所等の意識醸成を図り、相互の連携を進めながら、地域防災力の向上に向けた取り組みを展開している。今後も荒川の氾濫という水害リスクを想定した水害避難訓練の継続や、避難所運営委員会の設置、事業者等との協定締結などを強化し、災害対応力の強化及び減災に努めていく。
---



